

2次直前テキスト

TACオリジナルの2次攻略法「TACメソッド」や、2次で必要な知識を習得するための教材です。

TACの2次攻略ノウハウを存分に習得!



TACメソッド

TACオリジナルの2次攻略法「TACメソッド」を習得します。

2 作業レベルメソッド

作業レベルメソッドは、どのような事例問題でも使用可能な基本的作業を支援するための方法・ツールという位置づけである。

事例問題（事例1～3）の作業ステップ



☆事例4については、他の事例と異なり、経営分析以外の問題本文を使用しない計算経理中心の問題構成であるため、上記プロセスは採用しない。

(1) 複数解答メソッド

これは、まず、問題文について意図的に複数の解答を検討する方法である。出題者の意図を的確にとらえることは容易ではない。しかし、合格するためには「出題者の意図をはずした解答」を回避することが求められる。

出題者の意図（思惑）は必ずしも異なる。出題者に意図はなくとも自分にはその意図が伝わらない可能性があることを忘れないようにすべきである。

- × 要求を「読む」 = 要求を「特定する」ではない
- 要求を「読む」 ⇒ 解答の可能性を検討 ⇒ 複数の解答の中から選択

12



事例企業の特徴

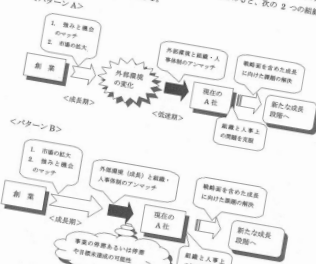
各事例で登場する企業の沿革や事業構造のパターンを把握します。

2 事例1に必要な知識等

1 経営経緯

1 事例企業の沿革（組織変遷のパターン）

事例1の問題構成は、最初に登場する事例目録、母集団に依って作られている場合が多く、事例企業は、多少の差こそあれ、「創業～成長期」「成熟期（ただし、成長期はあつた）」「衰退期を経て現在に至っている。大きくまとめると、次の2つの組織変遷のパターンに分類することができる。



パターンAは、事例の設定としては比較的多いオーソドックスなパターンであり、強みと機会をマッチさせることで組織が成長するが、何らかの環境の変化（多くは外部環境の変化）によって組織・事業の再構築が必要となる。

45



知識の対応

1次対策で学習した知識を2次対策に対応させていきます。

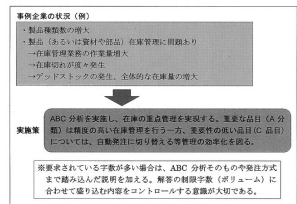
(2) 在庫管理

在庫管理とは、「必要な資材を、必要なときに、必要な量を、必要な場所へ供給できるように、各商品別の在庫を管理し、在庫に活用するための活動」のことである（JIS Z8141-7301）。一言でいえば、「在庫の適正化」のための活動であり、過剰在庫や品切れを防ぐことが在庫管理の重要な点となる。

① ABC分析による重点管理

ABC分析とは、「多くの在庫品目を取り扱うときそれを品目の取り扱い金額または量の大きい順に並べて、A、B、Cの3種類に区分し、管理の重点を決めるのに用いる分析」のことである（JIS Z8141-7302）。ABC分析を用いた管理の仕方をABC管理という。

在庫管理対象品目が多く在庫管理業務に手間がかかり、「ジャストストックの発生」「在庫切れの発生」などの在庫管理上の問題が発生している場合、ABC分析を用いた重点管理により改善することができる。



(3) JIT

見込生産においては在庫問題（発注遅れや欠品のリスク）を解消するためには、JIT（Just In Time）の考え方が重要になる。つまり、「必要な物、必要な時に、必要な量だけ生産（供給）する」生産方式が確立していれば、在庫問題は生じない。見込生産